

議会報告会要点記録

開催日時	平成29年5月21日(日) 13:30~15:10	
場 所	生涯学習センター	
出席議員	司会者	伊藤 奈穂子
	あいさつ	(開会) 小田 眞一 議長 (閉会) 細田 勝治 副議長
	説明者	(平成29年度予算審議) 曾根田 徹 (委員会報告) 石井 勲 瀬戸 和雄 諸星 光浩 清水 豊司
		牧野 一仁 鈴木 武夫 熊田 和人 清水 亜樹 田村 俊二
記録者	豊田 洋実 (事務局)	
参加人数	17人 (女性8人:男性9人)	
質疑・意見・提言等	Q.	定例会を土日などの休日に開催している自治体もあるが、どうして大井町は開催できないか。町民が傍聴しやすい環境を作ってほしい。
	A.	議会を招集するのは町長である。議会として休日の開催について今まで正式に申出していない。投げかけはしたことはあるが、職員の人件費、業務体制に課題がある。多くの町民の要望があれば議会としても検討したい。議会中継を検討している。
	Q.	議会としてどの程度お試し住宅について理解しているのか。詳しく知りたい。
	A.	協力者により、2件の空き家が利用できるようになった。2週間で2万円の賃料。12回分で24万円の予算が組まれている。大井町に住んでみたい人を対象にしている。
	Q.	町のお試し住宅利用者の対象条件は何か。自治会にごみ収集場所の利用の件は話があった。今の利用者は外国人である。どこに勤めているのか、どんな人なのか情報がなく不安であるので情報を教えてほしい。
	A.	利用者がいたことは把握していなかった。大井町に住みたいと思う人が対象である。
	Q.	12月に請願した内容は、企画経済常任委員会で扱うものではないのか?
	A.	所管する委員会に、紹介議員いるのは好ましくないので、別の委員会に付託した。請願者には連絡していなかったので今後は注意する。
	Q.	子連れで傍聴した人が退席させられた。気軽に傍聴できる環境を作ってほしい。
	A.	子どもが途中から騒がしく、しばらく様子を見ていたが、収まる様子がなかったため、議会を運営する立場から事務局に指示し退場させた。
		議会事務局室の前のホールにスピーカーを設置し対応する予定である。

質疑・意見・提言等	Q. 常任委員会の委員長、副委員長が紹介議員になれないのはおかしいのではないか。
	A. 委員長でも副委員長でも紹介議員になっても良いと考えている。ただし、審査の際、付託先の委員であれば審査に加わるべきでない。
	紹介議員が趣旨説明をおこなっているが、今後の検討課題として、請願者からの趣旨説明も可能にしていきたい。
	Q. 土地区画整理内の北側に、紫水大橋から国道255号線までの道路計画があるが、進捗状況は。
	A. 警察、JR東海との話し合いで、道路幅は、20m、鉄道とはアンダーで交差すると聞いている。早期整備については、促進協議会でも要望している。
	県の事業計画に位置付けられているが、いつまでに整備されるかは不明。
	平成31年度までには区画整理事業が完了するので、それまでには用地買収が進むと考える。
	Q. 土地区画整理内の公園に注目している。どんな公園になるのか。
	A. 基本計画は、プロポーザルで業者選定され、既に町民を含めてワークショップを行った。用地取得は公共施設管理者負担金でまかなわれ、負担金には国県補助がつく。
	議会にはまだ基本計画は示されていないが、防災機能も備えると聞いている。
	Q. 幼児から高齢者が楽しめる、健康づくりのできる公園作りを要望する。
	A. 高齢者等がストレッチができる遊具の設置などを質問したが、検討中との回答であった。ワークショップを3回位しているが、いろいろな考え方がありあっちが立てばこっちがたたずのようなことがあるようだ。
	Q. 選挙投票率について議会の中で問題提起されたか。
	A. 議会で議論したことはない。子供たちへの教育の観点から一般質問をしたことがある。
	Q. お試し住宅で、なぜ外国人が住んでいるのか。定住目的なのか、議会は知らなかったと理解していいか。
	A. そのように受け取ってよい。
	Q. お試し住宅で、ごみ問題など被害を被ってるのは私たちなのだ
	A. 事実関係を確認していきたい。
	Q. 平地の人と、丘陵の人とは、要望が違う。各地域の自治会館で議会報告会をやってもらうことを要望する。
	A. 貴重な意見として承りたい。